

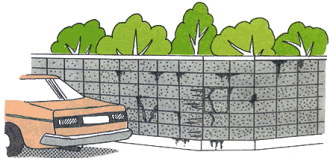


地震に備える



東日本大震災から7年が経過し、3月11日には多くのテレビで特集番組が生まれ、皆様は防災に対して再認識されたのではないのでしょうか？しかし29年度に行った地震への意識調査では、防災訓練への参加や備蓄等地震に対しての意識は高く、防災意識の高い静岡県ならではの結果でした。しかし、耐震補強への認識、ブロック塀の点検・補強、家具の固定等はまだまだ実行されていません。今回はそんなおはなしです。

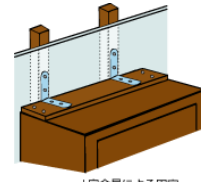
ブロック塀の点検



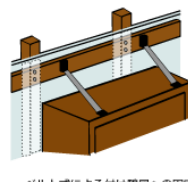
アンケートではブロック塀の点検方法が分からない。という答えが数多くきかれました。ブロック塀の中には鉄筋が入っていますが、それは外からでは見る事が出来ません。目視範囲の点検では ①ヒビや傾きは無いか ②高さは2m（10段）以内か ③土が掘れる場合は ④基礎はあるか等点検して下さい。一つでもダメな場合は補強や撤去が安全です。ブロック撤去・工事には補助金が適用されるばあいがあります。

家具の固定

家具を固定する場合はただ壁にとめるだけでは効果を発しない場合があります。建物の柱・間柱に家具を固定する事が大切です。下地が分からない場合は下地を探す器具、図面などから探します。65歳以上の家には補助金制度があります。



L字金具による固定



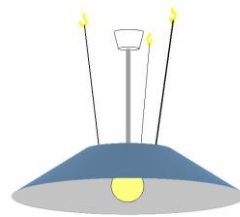
ベルト式による付け幅への固定

開き戸の固定



食器棚などの開き戸には、地震時に開放しない様にラッチの取付けをお勧めします。震度5以上でロックがかかる扉内側に設置するたいぷもあります。

照明器具



照明器具の落下防止には天井下地へチェーンで固定するします。また、器具を選ぶ時にはペンダント・シャンデリアを避けシーリングや埋め込タイプがお勧めです

耐震補強工事



それでも 大切なのは家の倒壊を防ぎ命を守ること。国交省では昨年に引き続き耐震工事の補助金の上乗せを行い56年度以前の住宅の耐震化の力を入れています。また部分補強工事の方法の指導、シェルターや耐震ベッドなどの補助金などもありますので、お気軽にご相談ください。

